

新たな制服導入のための検討委員会（第1回） 議事録

日 時 令和5年5月11日 18時30分～19時35分

会 場 壬生中学校 会議室

参加者 校長、壬生小PTA代表、藤井小PTA代表、壬生東小PTA代表、
稲葉小PTA代表、羽生田小PTA代表 庶務（教頭、教務主任、生徒会担当）
※生徒代表2名は第2回から参加予定

庶務 検討委員会（第1回）を開催する。本会の目的は、昨年度開催した準備委員会における地盤整備・論点整理をもとに、新たな制服導入に係る諸課題を検討し、制服導入に係る各工程を円滑に推進することにある。特に、検討委員会は、メーカー1社を選考する大切な工程がある。第1回の会合は新たな制服イメージの検討と共有を、第2回の会合はメーカー選考に係るプレゼンテーション実施上の留意点に関する研修会を、第3回はメーカー選考プレゼンテーションを実施する。有意義な議論・工程となるよう、宜しくお願ひします。

校長 （学校長あいさつ）

ご多用の中、お集まりくださりありがとうございます。昨年度のアンケートでは、現行制服について改善が必要という回答が8割を超えた。全国的にも、「誰もが心地よく着用できる制服」を模索する動きが活発な状況。制服改善の動きは全国的に加速している。昨年度、準備委員会を起ち上げて論点整理を行い、令和7年度の導入を決定した。中学校の保護者や学区内小学校の保護者など、多くの方々の意見を聴きながら、工程に沿って検討を深めていく。壬生中の将来像を見据え、各委員が楽しみながら検討を進めていただければ幸いです。

庶務 本会の会長は、学校経営の責任者である学校長が務めることとします。よろしいか。（各委員 了）

庶務 各委員の自己紹介をお願いします。（各委員による自己紹介）

庶務 はじめに「議題1 新たな制服導入の発案に係る背景・経緯」について説明する。

<概要>

- ・現行制服は、昭和56年4月の統合開校以来、詰襟学生服とセーラー服を標準服とし、長い歴史と伝統を有する。
- ・しかし、「セーラー服は気温に応じて簡単に脱着できず、寒暖の差への対応が難しい。」「洗濯しにくく感染症防止対応が難しい。」「男女別に標準服が定められているため、性差を問わず着られる制服があるとよい。」等の意見も、生徒や保護者等から寄せられてきた。
- ・令和4年8月に保護者を対象とした調査を実施し、「改善が必要か」と尋ねたところ、回答した保護者の81.0%から改善が必要との回答を得た。
- ・全国的にみても、ジェンダーレス（性別による区別のない）で誰もが心地よく着られる制服を導入する学校が増えている。SDGsの潮流や性の多様性の観点等も充分考慮し、本校の制服の将来像を検討することが喫緊の課題となっている。
- ・そこで、令和4年11月、新たな制服導入について検討する準備委員会を組織し、生徒や保護者、地域住民等とともに議論を深めるための地盤整備を行ってきた。

- ・準備委員会では、計2回（令和4年12月、令和5年2月）開催し、学区内各小学校保護者へのアンケート調査の実施及びその分析、制服イメージの共有、導入までの工程案の検討等を行った。
- ・準備委員会では、令和7年度の導入を決定し、当分の間は、新旧どちらを選択しても良いこととした。一定期間をもって、新たな制服に集約することとした。
- ・令和5年度は、準備委員会での議論結果に基づく検討委員会（計3回予定）を起ち上げ、制服メーカーによるプレゼンテーションの実施、制服メーカーの選定等を実施する予定である。

庶務 ご質問はいかがか。（委員 了）

庶務 次に、「議題2 新たな制服の導入時期」について説明する。

<概要>

- ・現行制服における改善として、令和4年9月に女子スラックスを導入した。
- ・現行制服における改善として、令和5年4月に女子の夏服長袖セーラー服を導入した。
- ・新たな制服は、令和7年度入学生より導入することを、準備委員会で決定した。新たな制服の導入は、統合45周年記念事業として位置付けることとした。

庶務 ご質問はいかがか。

委員 令和7年度の入学生は、家庭によって新と旧の両方を準備し、日によって新旧どちらを着用してもよいか。

（庶務：準備委員会の議論では、貴見のとおり想定している。）

委員 令和7年度当初に旧制服を用意した場合、年度途中で新制服に変更してもよいか。

（庶務：準備委員会の議論では、貴見のとおり想定している。）

庶務 次に、「議題3 新たな制服導入までの工程イメージ」について説明する。

<概要>

- ・R4.9月に学校運営協議会及び本校PTA総務委員会で発案し今後の工程を協議した。
- ・R4.11月～R5.3月に準備委員会を設立し、各種調査や分析、工程案の検討を行った。
- ・R5.5月～R5.8月に検討委員会を設立し、メーカー選考を行う予定である。
- ・R5.10月～R6.6月に選定委員会を設立し、制服のデザイン検討を行う予定である。
- ・R6.6月には新制服を決定し、保護者や地域住民へ周知する予定である。
- ・R6.7月～R6.11月に採寸を行う予定である。
- ・R7.4月の入学生より、新たな制服を導入することとなる。

庶務 ご質問はいかがか。（委員 了）

庶務 次に、「議題4 各組織の構成」について説明する。

<概要>

- ・R5.6月～7月に開催予定の検討委員会（第2回）では、生徒代表の参加を予定する。
- ・R5.10月以降の選定委員会は、デザイン等の選定を行うため、頻繁にお集まりいただくこととなる。

庶務 ご質問はいかがか。（委員 了）

庶務 次に「議題5 検討工程」について説明する。

<概要>

- ・R5.6月～7月に開催予定の検討委員会（第2回）では、メーカーを選考するための視点や留意点を学ぶ研修会を開催する。制服導入のスキルやノウハウを有する先進校職員を研修講師として招く予定である。
- ・R5.8月に、メーカー選考のためのプレゼンテーションを行う予定である。検討委員の皆様には、メーカー社を選ぶメーカー評価を担っていただくことになる。

庶務 ご質問はいかがか。

委員 プレゼンテーションを受けた後、点数はどう取り扱い、どう1社に絞るか。

(庶務：制服導入のスキルやノウハウを有する先進校職員を研修講師に招き、その研修会での学びに基づいて、皆さんとともに評価方法・選考方法の合意形成を図りたい。)

委員 プレゼンテーションの企画書は、事前に目を通して読み込んでおきたい。事前にいただくことは可能か。

(庶務：早めの〆切日を設定できるよう、各メーカーに打診したい。)

庶務 次に、「議題6 制服イメージ」について説明する。

<概要>

新しい制服の形態 : ブレザー (スラックス・スカート)
キーワード「多様性」「ジェンダーレス」
新しい制服のイメージ : 清潔さ 爽やかさ 上品さ
特に考慮した方がよいこと : 機能性 (動きやすさ、軽さ)
耐久性 (素材等)
価格面
相応しいカラーイメージ : 紺系 グレー系 黒系
(※校歌の一句にある「若草」「陽炎」の取扱いは今後の検討とする。)
あるとよいアイテム : ポロシャツ
ネクタイ、リボン
ニットカーディガン
特に考慮が必要な自由記述 : 金銭面の負担増に関すること
リサイクル制度の導入に関すること

庶務 ご質問はいかがか。

委員 ニットカーディガンやニットベストなどは、学校指定以外の市販品に安価なものがある。学校指定以外のものを許可できるとよいだろう。選択の幅が広がる。

委員 「自由にしていいいですよ」という考え方は、中学生という発達段階を考慮すると不安が残る。「学校指定以外の何でも良い」というのは逆に不便さがある。

委員 現行制服における取組として、夏服の長袖セーラーの導入はありがたい。

委員 ジェンダーレスの課題として、男性のスカート着用をどうするか、という議論もある。

庶務 最後に、「議題7 各メーカーへの説明会」について説明する。

<概要>

- ・プレゼンテーションは、デザイン選考ではなくメーカー選考として開催する。
- ・公平公正な選考となるために、ご提案サンプルは、下記により統一して実施する。
 - ア 紺色無地の上下スーツタイプで2つボタン。(男女冬服のセット 1プラン)
 - イ 男女同柄の無地のボトム (スラックス・スカート)。
 - ウ 縫製の品質は従来制服より優れていること。
 - エ 女子は、スラックスを選べること。
 - オ 提案サンプルに、ネクタイ、リボン、エンブレム、刺繍はつけないこと。
 - カ ご提案サンプルはボディに着せた状態とする。(顔・腕・足なし)
男子1体、女子1体 (スカート)、女子1体 (スラックス) の3体とする。
 - キ 本校の現行制服の価格を大きく上回ることをしないようにする。

庶務 ご質問はいかがか。(委員 了)

庶務 第2回、第3回の開催日時は、後日アンケート調査を実施する。本日はありがとうございました。

散会 19時35分

